

アーカイブ Data Report NO. 132

(2021年8月24日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

木田宏教育資料・オーラルヒストリー等から見たカリキュラムの課題

～GIGA スクール構想・生涯学習等での多様な学びを考える～

後藤忠彦、久世均（岐阜女子大学）

1. 木田宏先生のカリキュラムの観点

木田宏先生は、戦後、連合軍最高司令官総司令部（以下「司令部」とする）の指示で学習指導要領、国定教科書から検定教科書への切り換え、昭和31年には、教育委員会法の改正に関与された。このような戦後の教育改革について、多くの教育資料、オーラルヒストリー等を残されている。これらの中からカリキュラムの関係についての資料、オーラルヒストリー等を整理し、次のような関係図が構成できた。

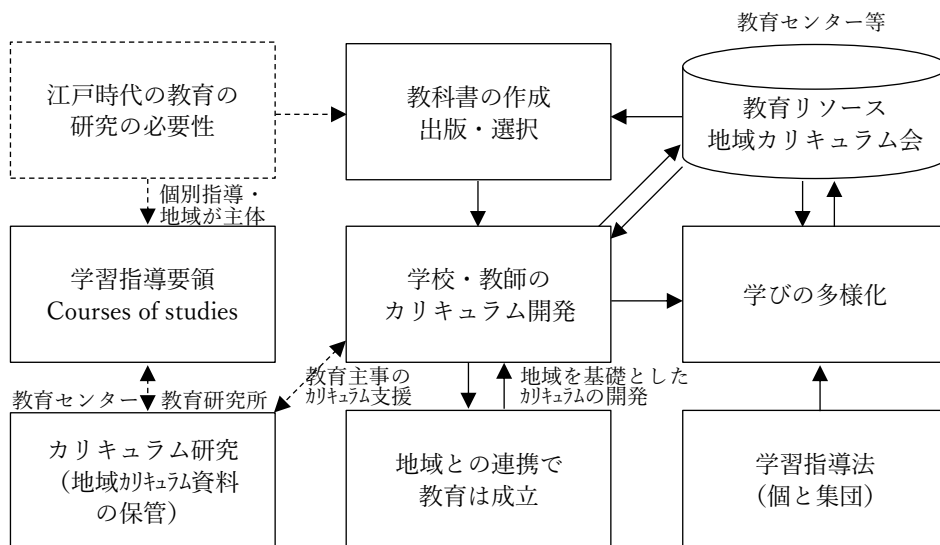


図 木田宏先生のカリキュラムに関する観点

- ①江戸時代の教育の研究の必要性 : 江戸時代の教育は地域によって寺小屋のように成立していた。
(教育委員会、学校の在り方、および個人指導)
- ②学習指導要領 : 司令部から Courses of studies を作れとの指示で学習指導要領と訳された。Courses、studies の複数に注目されている。
- ③国定教科書から検定教科書への切り換え : 司令部の指示で、国定から検定教科書への切り換への担当をされ、『新教育と教科書制度』実業教科書出版(1949)や「教科書の発行に関する臨時措置法」(1948)の担当をされ、教科書でのカリキュラムの基本を示されている。

- ④カリキュラムは学校、教師が作る : 学習指導要領を参考に地域と連携し、教育センター等の地域カリキュラム資料の提供を受け、カリキュラムを開発する。(指導主事は、学習指導要領のインストラクターでは困る。カリキュラム開発を支援すべき)
- ⑤教育センター、教育研究所等はカリキュラム研究センターであるべき : 地域カリキュラム資料を収集保管し、学校、教師のカリキュラム作成を支援すべきである。
- ⑥地域との連携で教育は成立 : 学校、教師は学習者の状況、地域を基礎として構成すべきである。
- ⑦学習指導方法(個と集団) : IEA(国際教育到達度評価学会)の評価結果等から、日本の教育は平均より少し下位の子どもを対象に話している(指導している)。上位、下位の子どもの学力をいかに向上させるかが課題である。……カリキュラムの検討
- ⑧教育リソース(地域カリキュラム資料会等) : 検定教科書への切り換えで文部省等は教育資料を収集、提供する必要性を書かれている。また、国立教育研究所に教育情報センターの設置がされている。教育リソースの保管、提供の必要性をよく言われていた。

2. GIGA スクール、生涯学習等に対応したカリキュラムについて

木田宏先生のカリキュラムの観点に対し、現在の GIGA スクール、生涯学習等に対応したカリキュラムの構成について次のような課題がある。

- ① 日本の人口減(労働人口)による質の高い人材と仕事の変化が求められだした。
- ② 創造性や協調性が必要な非定型的な仕事を中心にだした。
- ③ 人生百年時代になり、仕事の環境が変わり、キャリアチェンジが求められる時代になってきた。

このような社会の変化に対し、学びの仕方も変わる必要がある。とくに、社会のデジタル化、グローバル化、生涯学習への発展を考えた時、自分で学びの課題を見出し、その課題に対し教育リソースを使い主体的に学修するには、前図の木田宏先生のカリキュラム関係の構成に、次のような発展を追加すべきである。

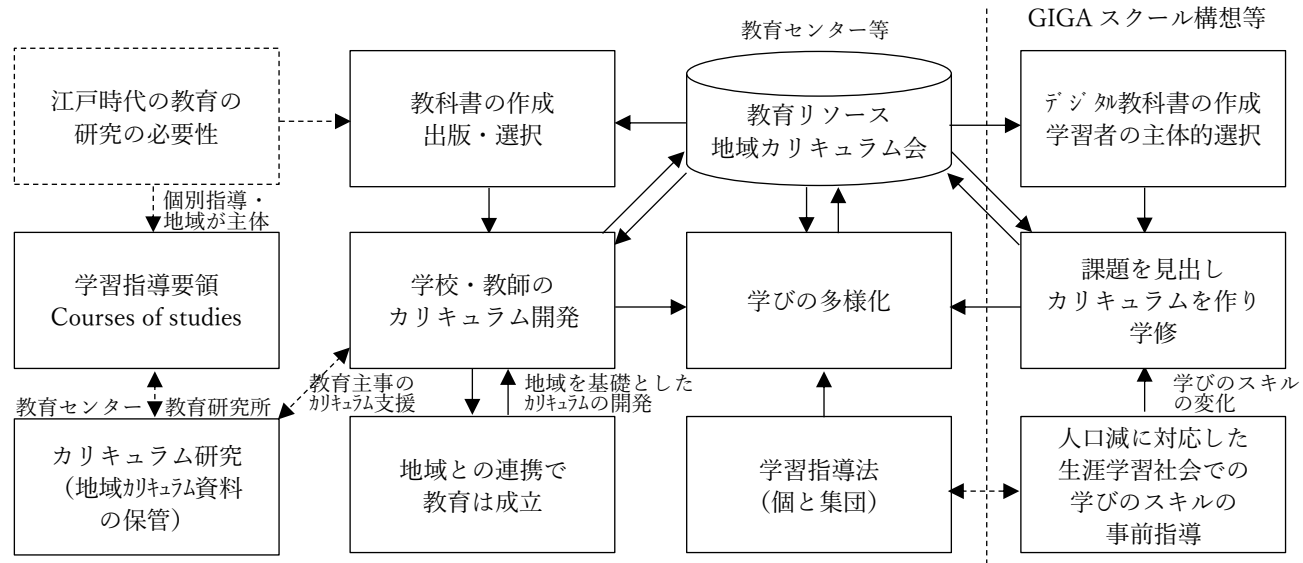


図 木田宏先生のカリキュラムの観点に新しい GIGA スクール構想等の観点を追加

今後の発展を考えた時、生涯学習社会での学びのスキルが可能になる学校教育での事前指導とそれを可能にする学習情報環境の整備が必要となってきた。